

2月10日(月)19:00～ 東京芸術劇場 プレイハウス

なんでも!クラシックプレミア モルゴーア・クアルテット

～イエス"危機"全曲版ほか 初披露～

21世紀、驚愕のカルテット=モルゴーアQが放つ、待ちに待った衝撃のプログレ第2弾! それに先駆けること4ヶ月の独占初出し!! しかも今回のみ、あのイエスの大名盤、【危機】をまるごと制覇!! この歴史的瞬間を逃してたまるか!!

モルゴーア・クアルテット

荒井英治 (ヴァイオリン) / 戸澤哲夫 (ヴァイオリン) / 小野富士 (ヴィオラ) / 藤森亮一 (チェロ)

全席指定=4,000円



曲目/解説

ピンク・フロイド：太陽賛歌

ピンク・フロイド：原子心母

シンガーソングライター・シド・バレットのもと、最初は典型的なサイケデリック・ミュージック・バンドであったピンク・フロイドは、シドの脱落と非常に視覚的なギター・ワークを持つデイヴィッド・ギルモア (1946～) の参加を機に、内的なヴィジョンをサウンド・コラージュ的な手法であぶり出す特異なプログレッシブ・ロック・バンドへと変貌していきます。後年、世界を席卷することとなる「狂気」や「ザ・ウォール」等のコンセプト主義は、この時期から徹底的に仕込まれ、アルバムの数々がいわば独立した映画のような性格を持っています。1968年のセカンド・アルバムに収録された、ロジャー・ウォーターズ (1943～) による「太陽賛歌」、1970年の5枚目のアルバムに収録された、ウォーターズ、ギルモア、ニック・メイスン (1944～)、リチャード・ライト (1943～2008) のメンバー全員のクレジットがある「原子心母」とも、ピンク・フロイドの真骨頂をみせつけた幻想音楽の名作といえます。

イエス：危機

第1部 着実な変革

第2部 全体保持

第3部 盛衰

第4部 人の四季

イエス：同志

第1部 人生の絆

第2部 失墜

第3部 牧師と教師

第4部 黙示

イエス：シベリアン・カートウル

緻密な曲作りと高い演奏水準でロック界に君臨したスーパーバンド、イエス。1971年、マルチ・キーボード・プレイヤーのリック・ウェイクマン（1949～）が参入して、サウンドは厚みと鮮烈さを加え、史上空前のロック・シンフォニーを奏でることになります。その頂点が、1972年発表のアルバム「危機」。ヘルマン・ヘッセの仏教小説「シッダールタ」をコンセプトに、アルバム全体でわずか3曲という大曲構成、驚異的なテクニク、言葉のめくるめく象徴性を備え、あらゆるプログレッシブ・ロックの原型となる要素が全て満載された傑作です。1973年の初来日公演では、事実上不可能と思われたアルバムの完全再現を苦もなく達成するバンドの姿に、多くのファンや関係者が衝撃を受けました。作詞、ヴォーカルのジョン・アンダーソン（1944～）、ベーシストのクリス・スクワイヤ（1948～）、ギタリストのスティーブ・ハウ（1947～）、ドラマーのビル・ブルーフォード（1949～）、そしてウェイクマンが創造した異次元空間の旅をお楽しみ下さい。

エマーソン・レイク&パーマー：悪の教典#9 第一印象・パート1

キース・エマーソン（1944～）のキーボード、グレッグ・レイク（1947～）のベースとヴォーカル、カール・パーマー（1950～）のドラムという当時のスーパー・ミュージシャンによって結成されたトリオがEL&Pこと、エマーソン・レイク&パーマーです。ジャズ、クラシックもこなすエマーソンの大胆なインタープレイがロック界に影響を与え、キング・クリムゾン、イエス、ピンク・フロイドとともに、「プログレッシブ・ロック四天王」と呼ばれました。「悪の教典#9 第一印象・パート1」は、1973年のアルバム「恐怖の頭脳改革」の、約30分を占める組曲の最初の部分。エマーソンのハモンド・オルガンとムーン・シンセサイザーが縦横に悪の宇宙を駆け巡る名作が、このカルテットでどう料理されるのでしょうか。

キング・クリムゾン：21世紀のスキッツォイド・マン

キング・クリムゾンの記念碑的なファースト・アルバム「クリムゾン・キングの宮殿」は、1969年10月、画家バリー・コットバーの風変わりなジャケットに収められて登場し、前衛的な内容にもかかわらず、全英5位というヒットとなりました。以来、プログレッシブ・ロックを代表する傑作として、ロックへ関心を持つ者すべての必携盤となっています。何よりも、ビート音楽、ジャズ、民族音楽、クラシック音楽等あらゆるジャンルを横断しつつ、痛烈な現代社会批判と独自の音楽美を完全に両立させた点が素晴らしく、永遠の名盤たる所以といえます。ここからパンドラの匣が開け放たれたように、さまざまな新しい音の冒険ープログレッシブ・ロックの世界が始まります。いま聴いてもまったく色あせないキング・クリムゾンの第一声が、「21世紀のスキッツォイド・マン」です。

お問い合わせ：チケットスペース 03-3234-9999（月～土10:00～12:00／13:00～18:00）

※料金は全て税込・全席指定となります。

※やむを得ぬ事情により、出演者、曲目に変更が出る場合がございます。